

東武鉄道株式会社 第132回無担保社債（グリーンボンド） レポーティング（2024年5月末時点）



■ 本社債の資金充当状況および環境改善効果は以下のとおりです。

資金使途		調達資金の充当状況		インパクト・レポーティング (環境改善効果)
		充当済額	未充当額	
新型車両の導入 (クリーン輸送)  	新型車両 N100系 SPACIA Xの導入 	(新規) 93億円	—	■ 全4編成24両のうち、2編成12両が2023年7月15日に運行開始、残り2編成12両が2024年3月16日に運行開始している。 ■ CO ₂ 排出削減量：1,743t-CO ₂ /年/4編成(※1)
	新型車両500系 リバティの導入 	(リファイナンス) 6億円	—	■ 車両導入数：3両(1編成) ⇒2021年度に増備した18両のうちの3両分 ■ CO ₂ 排出削減量：218 t-CO ₂ /年/1編成(※2)
太陽光発電 システムの設置 (再生可能 エネルギー)  	東武動物公園駅西口商業施設 	(リファイナンス) 1億円	—	■ 年間発電量：518,710 kwh (※3) ■ CO ₂ 排出削減量：157 t-CO ₂ /年 (※4)
計		100億円	—	

(※1)100系スペーシアとの比較。消費電力や特急車両の年間走行キロ等を基にした推計値。

(※2)100系スペーシアとの比較。消費電力や特急車両の年間走行キロ等を基にした推計値。

(※3)2023年度実績。

(※4)2023年度実績の年間発電量に、CO₂排出係数0.000302t-CO₂/kwh(2023年度電気事業者別排出係数)を乗じた推計値。